

① 子どもの食の安全性と町の農業環境対策について

昨年の「主要農作物種子法」廃止に対して、全国の地方自治体では、新たに「種子条例」が制定されつつあります。そんななか、農業界における農薬被害がクローズアップされ社会問題となっています。このことは、一番肝心の私たちの食と生活に影を落とし始めている大きな問題であることは確かであります。特に成長ざかりの子どもが口にする給食の安全性の心配と食育や健康問題が指摘され始めています。そこで、私たちの生活する周辺も踏まえ農薬についての問題意識と今後の子供たち等を取り巻く給食や学校周辺、身の回りでの農業環境安全対策と今後の農業における取組について町の考えをお聞きします。

② 高齢者等の健康と安心できるまちづくりについて

現在、日本の平均寿命は、女性87歳、男性81歳となり、その健康寿命は、女性が74歳、男性が72歳と健康寿命の延伸が続いております。健康寿命を過ぎた約10年間をどう自分らしく生きがいを持ち健康と向き合っていくかが、もっとも鍵となるところです。健康を保持するためには、お口の中の健康を維持することが一番大切だと言われ、「オーラルフレイル」から「全身フレイル」にならないための予防策が必要とされます。又、長崎県後期高齢者医療広域連合におきましては、高齢者の「フレイル予防・改善対策」を推進しています。本町におきましても高齢者等（寝たきりや障がい者も含む）の健康づくりの現状とフレイル予防・改善対策と安心して過ごせるまちづくりについての展望をお聞きします。